



世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の 第41期分配金のお知らせ



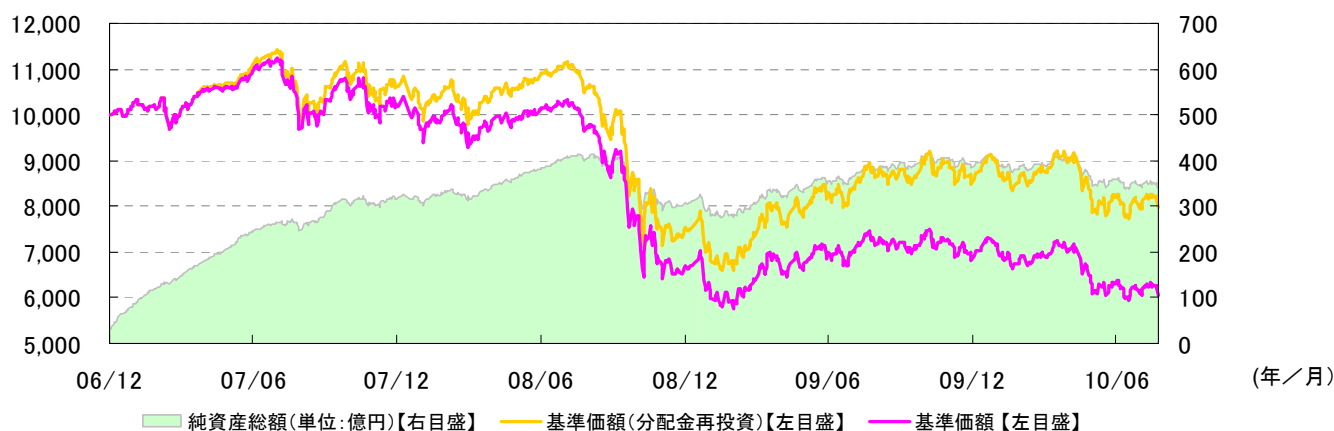
追加型投信/内外/債券

2010年8月(第41期)の分配金について

平素は弊社商品『世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

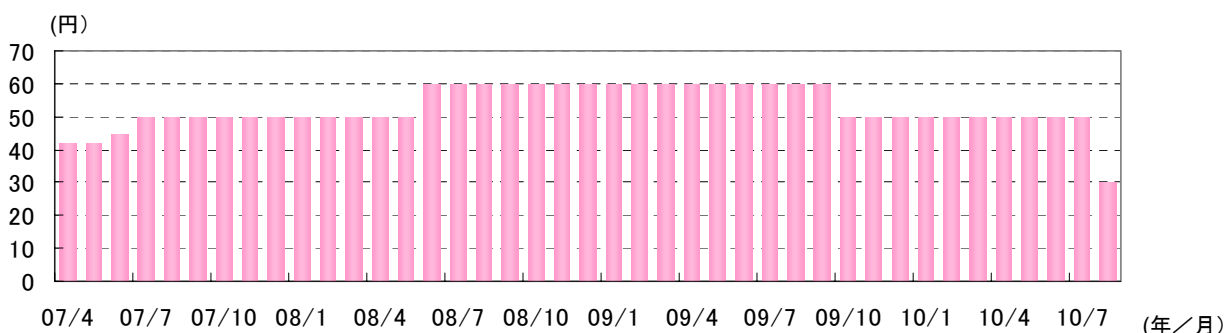
さて、当ファンドは8月12日に第41期決算を迎え、当期の分配金を1万口当たり30円(税引前)といたしましたことを、ご報告申し上げます。なお、決算後の基準価額は6,059円です。

■基準価額、基準価額(分配金再投資)の推移(2006年12月20日～2010年8月12日)



- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.9975%(税抜0.95%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

■分配金の推移(1万口当たり、税引前)(2007年4月12日～2010年8月12日)



・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。なお、分配金は税引前の値です。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の
第41期分配金のお知らせ****■ファンドの分配方針と前回決算(2010年7月)までの分配について****●当ファンドの分配方針**

- ・ 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・ 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。
- ・ 収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

- 上記の分配方針に従い、2009年10月以来1万口当たり50円(税引前)の分配金を継続してまいりました。

■今期決算(2010年8月)における分配金の引き下げについて

- ◆ 当ファンドは、A格相当以上の信用格付けがあり、円滑な取引が可能な国の中から、相対的に利回りが高い4~5カ国の短期債券に分散投資する運用を行い、上記の分配方針に従って、安定的に分配金をお支払いしてまいりました。
- ◆ リーマン・ショック後の減速から回復基調にあった世界経済は、ギリシャ・ショックに端を発した欧州の財政危機への懸念の高まりなどを背景に、再び減速懸念が広がっています。こうした世界経済情勢から、各国の短期国債利回りは総じて低下傾向にあり、ファンドの利息収入が減少しております。
- ◆ また上記のような世界経済環境から、投資家のリスク回避的な動きが強まり、世界の主要な通貨に対して円高が進行したため、基準価額が下落しております。

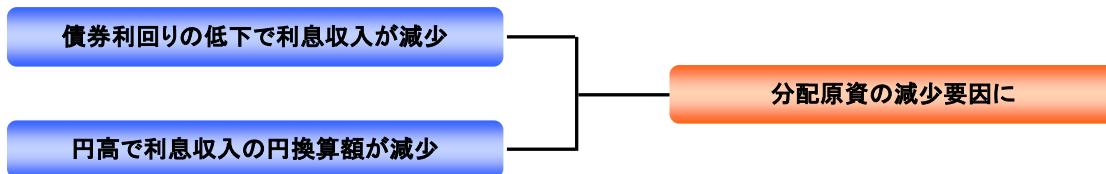
こうした状況下、今後のファンドの安定的な分配を継続するために今般分配金水準の見直しを行い、今期決算の分配金を1万口当たり30円(税引前)に引き下げることにいたしました。

分配金引き下げの背景について、よくある質問を中心にQ&A形式で作成しましたので、ご参照ください。

世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の
 第41期分配金のお知らせ

Q1:分配金を引き下げたのはなぜですか

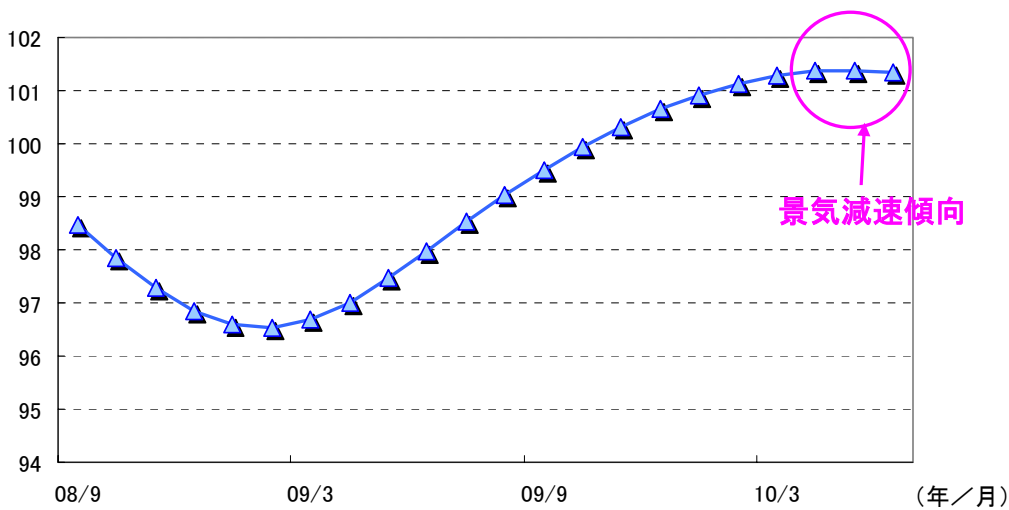
- ◆ 世界経済はリーマン・ショック後の減速から回復基調にありました。しかし、ギリシャの債務問題をきっかけに欧州主要国が歳出削減や増税等の厳しい財政再建策を講じ、欧州全般の景気見通しが悪くなっており、また米国景気の回復にも陰りが見え始めており、世界経済は再び減速懸念が広がっています(図表1)。こうした経済情勢からリスク資産が下落し安全資産への需要が高まっており、各国の短期国債利回りは総じて低下傾向にあり(図表2)、ファンドの利息収入が減少しております。
- ◆ また上記のように景気および金融市場の先行きに対する不透明感が広がったことから、今まで高収益が期待できるリスク資産に向かってきた資金の回収が起こり、投資家は相対的にリスクが小さいと見られる円を買う動きを強め、世界の主要な通貨に対して円高となっております(図表3)。



利息収入は分配原資の一部であり、利息収入だけで分配金が決定されるものではありませんが、円高により基準価額が下落し、十分な分配原資を確保できるほどの利息収入や売買益が期待できにくい状況にあります。そのため、今後も安定した分配を行うことをめざすため、今般分配金水準の見直しを行い分配金を1万口当たり30円(税引前)に引き下げることにいたしました。

(図表1)

■OECD景気先行指数(2008年7月～2010年6月)



(出所)OECDのデータより三菱UFJ投信作成

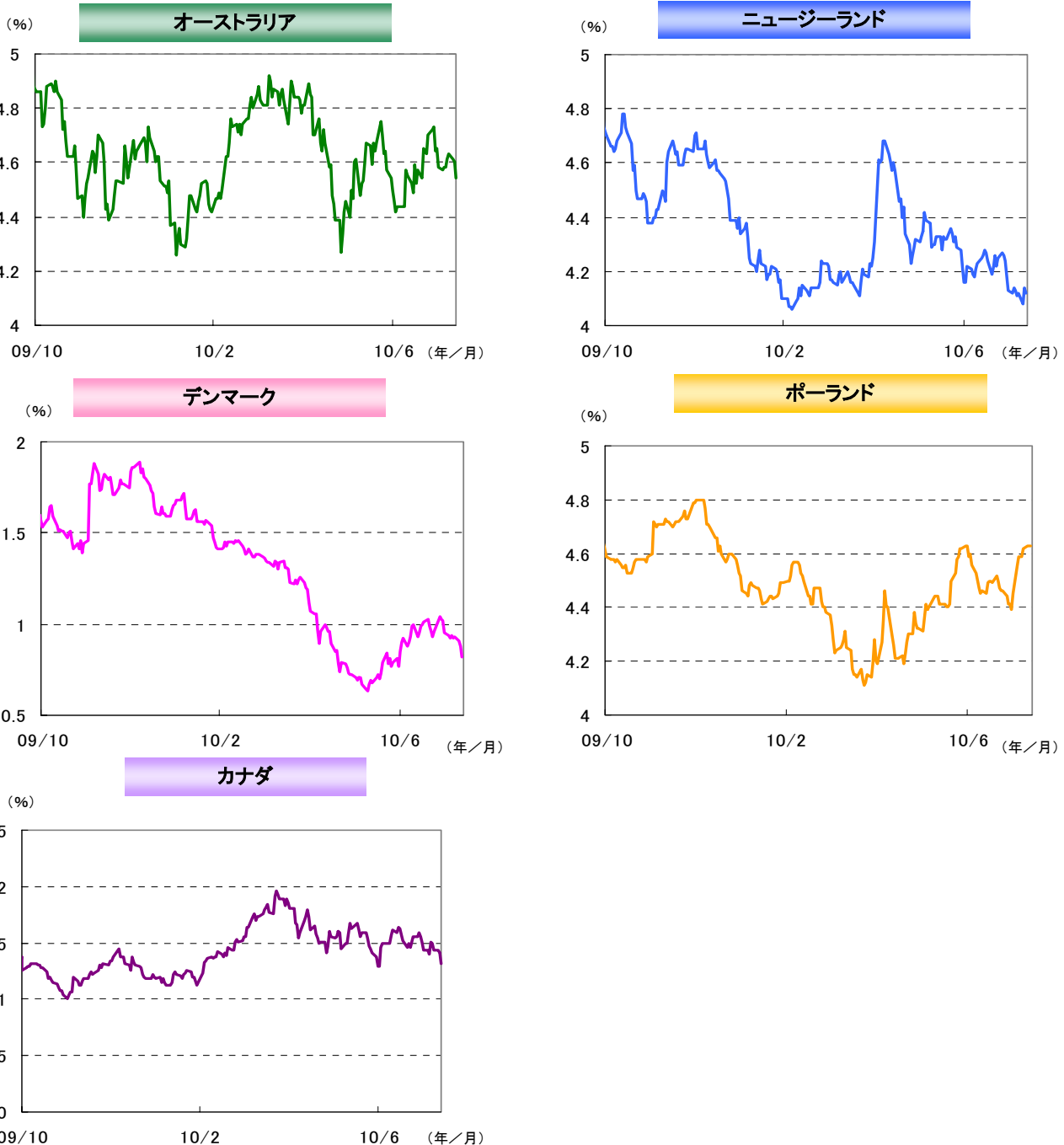
・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の
第41期分配金のお知らせ

(図表2)

■ファンド組入国の短期国債利回り推移(2009年10月30日～2010年8月11日)



※各国国債の利回りは、シティグループ世界国債インデックス(1～3年債、ニュージーランドは1～5年債)の国別最終利回りを掲出して
おります。シティグループ世界国債インデックスとは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、世界主要国の国債
の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し、指数化した債券インデックスです。

※当ファンドは、金利水準や流動性などを総合的に判断した結果、2010年7月に組み入れ国からデンマークを除外し、カナダを加えることを
決定し、組み換えに着手いたしております。

(出所)シティグループ証券株式会社のデータより三菱UFJ投信作成

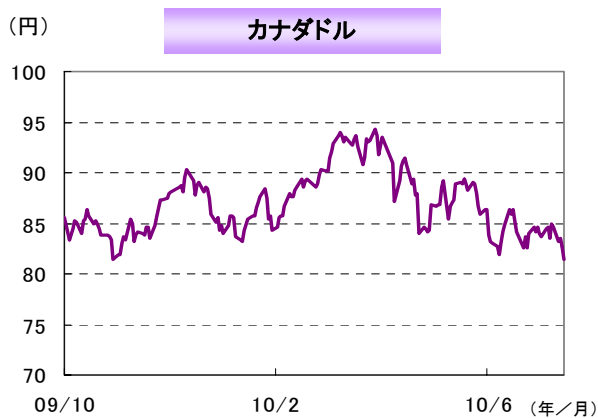
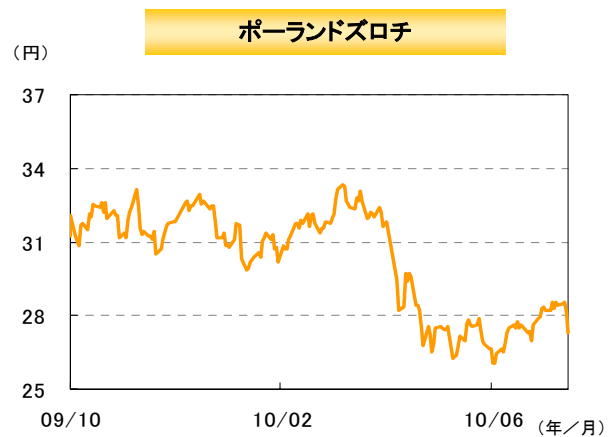
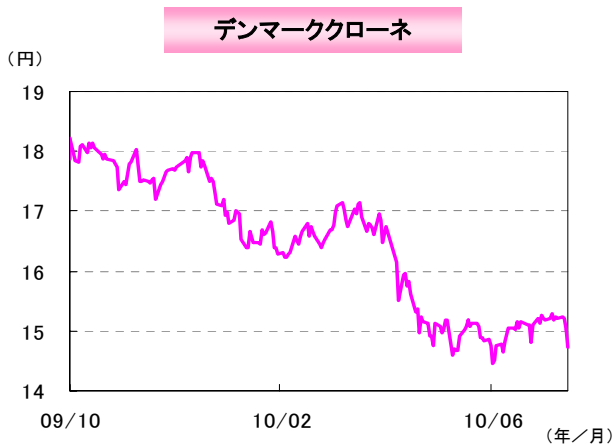
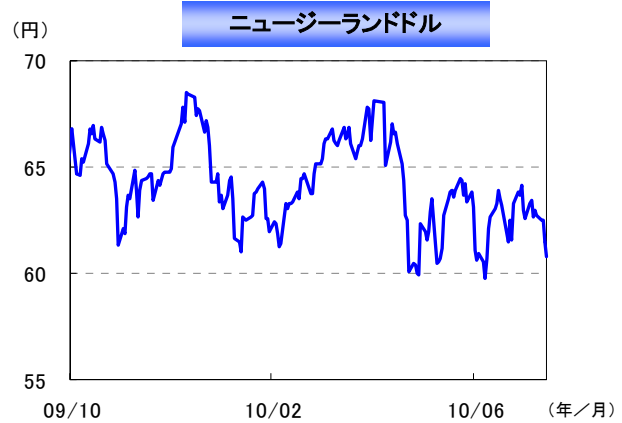
・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の
第41期分配金のお知らせ

(図表3)

■ファンド組入国通貨の対円為替推移(2009年10月30日～2010年8月12日)



■前回分配金引き下げ後の各通貨の騰落率(2009年10月30日～2010年8月12日)

オーストラリアドル	ニュージーランドドル	デンマーククローネ	ポーランドズロチ	カナダドル
-8.59%	-9.08%	-19.21%	-14.95%	-4.90%

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

※当ファンドは、金利水準や流動性などを総合的に判断した結果、2010年7月に組み入れ通貨からデンマーククローネを除外し、カナダドルを加えることを決定し、組み換えに着手いたしております。

・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。



世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】の 第41期分配金のお知らせ

Q2:今後の分配金は再度引き下げ、あるいは引き上げられることはありますか

今後の分配につきましては、引き続き、分配水準の安定性に配慮しながら、分配方針に従い、基準価額水準や市況動向等を勘案して分配金を決定させていただきます。

当ファンドの分配は、利息収入、債券や為替の値上がり益の累積合計額および過去の収益の繰越分(分配を行わなかった分)などを収益分配原資として行います。したがって、これらの状況の変化により分配金額は下がることも上がることも考えられます。

様々な要因により分配原資総額は変化いたしますので、将来の分配金額については、あらかじめ一定の額をお約束できるものではありません。

Q3:今後の経済環境の見通しについて教えてください

当ファンドは現在オーストラリア、ポーランド、ニュージーランド、カナダの4通貨での運用を行っております。オーストラリアについては、最重要輸出先の一つである中国が依然10%台の高成長を維持していることにより、景気面で追い風を受けています。このためRBA(豪州連邦準備銀行)は、昨年10月以降今年7月までに1.5%の利上げを行っています。オーストラリアに比べると景気回復が遅れていたニュージーランドですが、同国も景気底入れを背景に今年6月に利上げを開始しました。カナダについても新興国の旺盛な資源需要に支えられて景気が堅調であり、同じく利上げを開始しました。一方ポーランドは、欧州財政問題等の影響を強く受け、通貨安が続いていました。しかしユーロ圏の情勢は最悪期を過ぎたとの見方が広まるにつれ、7月以降はポーランドズロチも反発傾向にあります。このように当ファンド組み入れ通貨は、全般的に上昇しやすい環境が整備されつつあると考えています。

Q4:今後の運用方針について教えてください

金利上昇は投資妙味の増加につながることから、一般的に為替に有利に働くと考えられます。

また、短期債は長期債に比べ一般的に金利上昇の影響を受けにくい(金利上昇時に価格が相対的に下がりにくい)特性があります。短期債を中心とした運用を行うことにより、この利点を生かすとともに、他の通貨との金利水準比較を行いつつ最も有利と考えられる投資行動を継続してまいります。

・コメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】
追加型投信/内外/債券
ファンドの特色

- ・世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に組み入れを行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。
- ・信用格付がA格相当以上の国の中から、債券市場の規模、投資に係る規制等を勘案して投資候補となる国を決定します。
- ・投資にあたっては、利回り水準の高い国を複数選定し、当該国通貨建ての債券に投資することを基本とします。投資配分については、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。
- ・投資候補国および投資国の見直しは、委託会社が必要と認めた場合に行います。
- ・為替リスクを軽減させるため、為替ヘッジ取引等を活用する場合があります。
- ・毎月12日(12日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、安定した分配を行うことをめざします。

商品概要

信託期間	: 2006年12月20日から無期限 ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
決算日	: 原則として、毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
ベンチマーク	: 規定しておりません。
お買付け申込み・中途換金	: 原則として、いつでもお買付け申込み、換金のお申込みができます。ただし、ニューヨーク、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨーク、ロンドンの銀行の休業日、その他ニューヨークまたはロンドンにおける債券市場の取引停止日に該当する日についてはお買付け・中途換金のお申込みができません。
申込価額	: 申込受付日の翌営業日の基準価額
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】	
■申込時に直接ご負担いただく費用	
申込手数料	: 申込価額×2.1%(税抜2%)を上限として販売会社が定める手数料率
■換金時に直接ご負担いただく費用	
信託財産留保額	: なし
■保有期間中に間接的にご負担いただく費用	
信託報酬	: 純資産総額に対して、年率0.9975%(税抜0.95%)
その他費用(*)	: 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等
(*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	
なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。	
《課税関係》個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。	
なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。	
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。	
当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。	

【お申込不可日について】2010年の該当日は1月18日、2月15日、4月2日、4月5日、5月31日、7月5日、8月30日、9月6日、11月11日、11月25日、12月24日、12月27日、12月28日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を投資対象としますので、金利変動により組入公社債の価格が下落すること、組入公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入公社債の価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等があります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 Ⅲ リスク」をご覧ください。

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入しておりません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。／投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。／運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- 当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会
 (社)日本証券投資顧問業協会

<お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034(毎営業日の9:00~17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。)

世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)【愛称:キュート】
当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

市場リスク	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を主要投資対象としており、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
信用リスク	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
流動性リスク	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。 <p>なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。</p>

販売会社情報一覧表

ファンド名称:世界好利回り短期債券ファンド(毎月決算型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	日本証券業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会
株式会社 滋賀銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号	日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会
株式会社 七十七銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第5号	日本証券業協会
株式会社 千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会
株式会社 徳島銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第10号	日本証券業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会/(社)日本証券投資顧問業協会/ (社)金融先物取引業協会
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号	日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会/(社)金融先物取引業協会

※「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。